

平成23年度 決算審査報告



代表監査委員 高野繁太郎
議員選出 宮田眞理子

決算審査の結果

「一般会計・特別会計」

（特別会計は国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・下水道・基金の運用状況）

各会計の歳入歳出決算書及び付属書類はいずれも関係法令に基づいて作成され、数値も帳票と符合しおおむね適正であると認められた。

「企業会計」

（水道事業・病院事業）

各事業の決算は、いずれも法令に基づいて作成されており、計数は正確であり、その内容及び予算執行についても、概ね適正に執行されていると認められた。

審査意見

「一般会計・特別会計」

一般会計は歳入総額70億9416万1千円、歳出総額66億3835万4千円、実質収支は3億1137万1千円の決算となっており、他会計への繰り出し金は10億20万円でした。

町は文教施設の統合という大事業を目前にしております。

まずは、行財政運営の一層の効率化と最小の経費で最大の効果を挙げるといふ財政の基本原則を確認してください。併せて、観光産業を中心とした景気浮揚や就労の場の確保など、さらに町民が安心、安全に暮らせる快適な町づくりを進めてください。

徴税収入が確実に減少する財政状況の中で生活環境の整備や福祉、

医療の充実等の課題を着実に実行するため、行政組織の見直しなど経常経費の抑制に努め、今後も健全財政を堅持するよう望みます。

「企業会計」

水道事業

今後とも生活用水の安心安全供給のため、計画的に建設改良事業を実施すると共に一層の経費節減に努め、安定的な事業運営を図るよう望みます。

病院事業

地域医療の核として「地域に信頼されるかかりつけ病院」となるよう指定管理者ともども更に努力するよう望みます。

